

「柏崎の橋」

68 大橋・仲山橋（大沢）

大沢地区で鯖石川に架かる橋は、現在大橋、仲山橋の2つである。かつて高柳と柏崎を結ぶ道は、田島地区の山根橋以南も鯖石川の西側を通っていたが、大正から昭和初期に東側に移された。この間の経緯は「山根橋」（ソフィアだより211号）に掲載したとおりである。

これを裏付けるように、大正10年発行の「刈



羽郡南鯖石村是」収録の地図では、現在の大橋に相当する場所に架かる橋の東側に、県道柏崎・松代線（国道252号の前身）が通

っている。この地図には、現在の仲山橋に相当する橋が記載されていないが、大正11年発行の「南鯖石郷土誌」には、大澤橋・中山橋の2つの木橋が記載されており、2本とも大沢地区にあると推定される。

この地図に記載がある南鯖石村尋常高等小学校大沢分教場は、明治5年の学制発布を受けて、明

治7年に地区内に小学校が開設されたことにさかのぼる。その後南鯖石村では、統合小学校の開設機運が高まり、大沢地区ではこれを阻止するため、地区内の山々から用材を切出し、地区の自力で明治42年に大沢尋常小学校を新築した。これを記念して大沢校句碑が建立された。

その後明治45年には、この校舎に高等科も併設されたが、大正10年に南鯖石尋常高等小学校が設立されたことにより、大沢校はその分校となった。昭和53年度末をもって、大沢分校は南鯖石小学校に統合されることになり、この時点で柏崎市内の常設分校は、中通小学校五十土分校のみとなったが、五十土分校も昭和54年度末をもって中通小学校に統合された。大沢分校の跡地は、現在ゲートボール場となっている。

現在の大橋は昭和54年、仲山橋は昭和45年に竣工したものであり、それぞれ大沢地区の重要な生活道路として利用されている。



仲山橋



大橋

●参考にした資料

『柏崎の史跡今昔』（224 マエ） 前沢潤著
柏崎日報 昭和54年3月10日付け2面
柏崎日報 昭和54年3月28日付け2面